

大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第10号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成29年 2月 1日

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

入試、館岩、職業体験、充実の3学期—1年生の道徳も充実しています—

校長 中島 俊尚

1月、3年生は校長室と第2会議室(教頭が担当)で面接練習、1月22日からの私立入試に備えました。志望動機、高校に入ってがんばりたいこと、将来の夢、中学校生活の思い出、長所と短所、最近気になるニュース・・・次から次へと繰り返される質問に、自分のことばでしっかり答えるその姿に、中学校生活の集大成ともいえる頼もしさを感じました。本番の入試では持っている実力を100%発揮できますように願っています。

1月12日、2年生の館岩自然の教室(スキー実習)が始まりました。朝6時30分の集合に遅れる生徒は一人もいません。笑顔にあふれ、みんな元気に福島県の会津高原たかつえスキー場に向かいました。あっという間の2泊3日、降りしきる雪の中でのスキー実習と、館岩少年自然の家での集団生活を楽しんだ生徒たちは大きなけがや病気もなく、全員元気に学校に帰ってきました。「生徒と先生の関係がとつても温かくていい学校ですね」翌週、宿泊した館岩少年自然の家の所長さんからこんな電話をいただきました。3日間、降りっぱなしの大雪、本物の自然の魅力と厳しさを味わいながら、2年生の館岩自然の教室は大きな成果を収めました。



このように3学期は、進路の選択に集中する3年生、館岩の事後学習・振り返りに取り組む2年生、さらに1年生の道徳も充実しています。1月17日、22年前に起こった「阪神・淡路大震災」に合わせて、当時の警察官の手記をもとに作成した資料(道徳通信)を読み、震災で培われた「絆・支え合う心」「優しさ・思いやり」の大切さについて再確認しました。さらに「未来(みら)くるワーク」(1/25-27実施)に合わせて、「勤労の尊さ、働くことの喜び」について学習したことを思い出させる道徳通信を発行し、職業体験への心の準備を確かなものとししました。そして1月下旬からの道徳の時間では、さいたま市教委からレンタルした赤ちゃんの人形を抱きしめる体験からスタートする学習『あなたはすごい力で生まれてきた』に取り組み、心温まる活動を通して「かけがえのない命の尊さ」についてしっかりと学んでいきます。



さて、そんな1年生が、1月25日から職場体験学習「未来くるワーク」に取り組みました。242名の1年生が75の事業所に分かれ、グループごとに職業体験を行いました。生徒を受け入れていただく事業所は農業、造園業、製造業、販売業、飲食業、学校や公共施設・社会福祉施設など様々です

針ヶ谷公民館では運よくFM浦和(REDS WAVE)の取材にあたり、実際にラジオ番組に出演し、公民館の紹介を行ったり、「未来くるワーク」についてのインタビューに答えたり、貴重な体験を積むことができました。またPTAフラワーアレンジメント教室の講師も務めてくださっているフローリストアオキさんでは親身のご指導に生徒はとても生き生きと活動していました。今回の職場体験学習を通して1年生が一段と大きく成長することを楽しみにしております。

結びに学校評価の保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。73.5%の保護者の方からご回答をいただきました。ご意見を真摯に受け止め今後の学校運営に生かしてまいります。